

放課後等ディサービスにおける障がい児支援の実践力育成

～ 集団活動の企画と実際（体験活動とＳＳＴ法）～



右のQRコードから
左のページの表示を
お願いします。

オネストリィ R3.3.26



サンクスシェア
代表社員 田中 聰







ポイント ④

集団活動を系統化する



【活動企画書をつくろう！】

【活動企画書を作る際の手順】

- 1 目的を明確にする
 - 2 活動の内容を決める
 - 3 活動の展開方法を考える
 - 4 活動計画を立てる
 - 5 支援の具体的留意点を考える
 - 6 下見及びスタッフ予備体験をする
 - 7 活動計画を練り直す
- ※ 上司に企画提案する（戦略的提案）



サンクスシェア

活動を企画するポイント

- ① **目的**：どんな成長（思考・感情・行動）を目指すか？
- ② **内容**：
 - ・子どもの興味関心をそそるか？
 - ・実現可能か？
 - ・実行時のリスク管理が想定範囲内か？
- ③ **方法**：
 - ・実施可能な方法か？（必要な支援者人数の確保）
 - ・保護者への説明が十分できる方法か？
 - ・実施の評価を事前に準備できる方法か？
- ④ **評価**：
 - ・できたか、できなかつたか、の判定が可能か？
(行事の目的を達成できたか評価できるか？)

目的・内容・方法

活動の目的(ねらい)はなに？



(1) ガイドラインの趣旨

(2) 放課後等デイサービスの基本的役割

○ 子どもの最善の利益の保障

「生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与すること」（児童福祉法）学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じた発達支援→最善の利益の保障と健全な育成

○ 共生社会の実現に向けた後方支援

インクルージョン 集団の中での育ちの保障 一般的な子育て支援策を、専門的な知識・経験に基づく後方支援 地域の障がい児支援の専門機関としてふさわしい事業展開

○ 保護者支援

①子育ての悩み等に対する相談を行うこと ②家庭内の養育等についてペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援すること ③保護者の時間を保障するために、ケアを一時的に代行する支援を行うこと

(3) 放課後等デイサービスの提供に当たっての基本的姿勢と基本活動

① 基本的姿勢

発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した個別支援計画に沿って発達支援を行う。
「他者との信頼関係の形成の体験」「人と関わることへの関心」「コミュニケーションをとることの楽しさ」「葛藤を調整する力」「主張する力」「折り合いをつける力」基本活動には、自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを組み込むこと。「保護者・関係機関との連携」

② 基本活動

ア 自立支援と日常生活の充実のための活動

基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動「遊びを通して成功体験」「自己肯定感を育む」

イ 創作活動

表現する喜びを体験できる。日頃から自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもつ。「豊かな感性」

ウ 地域交流の機会の提供

子どもの社会経験の幅を広げていく。放課後等に行われている多様学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により積極的に地域との交流を図っていく。

エ 余暇の提供

子どもが望む遊びや自分自身をリラックスさせる練習等の諸活動を自己選択して取り組む経験を積んでいくために、多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう工夫する。

(4) 事業所が適切な放課後等デイサービスを提供するために必要な組織運営管理

① 適切な支援の提供と支援の質の向上

○ 運営方針、計画、タイムスケジュール、活動プログラムについて、PDCAサイクルにより不断に支援の質の向上を図る。

○ 支援に関わる人材の知識・技術を高める研修の機会確保+習得意欲喚起

○ 保護者、学校をはじめ、さまざまな関係機関との連携、情報共有→放課後等デイサービスに期待される役割の認識

② 説明責任の履行と透明性の高い事業運営

○ 保護者の満足感、安心感を高めるため支援の内容を保護者とともに考える。丁寧な説明。寄り添うための積極的なコミュニケーション。

○ 事業所が、地域社会からの信頼を得るために、事業に関する情報発信を積極的に行い地域に開かれた事業運営を心がける。

③ 様々なリスクへの備えと法令遵守

○ 健康状態の急変、非常災害、犯罪、感染症に対する訓練やマニュアルの策定

○ 虐待の未然防止や個人情報の保護、関係法規の遵守。「子どもの権利擁護」

なにをねらって療育活動をする？

児童発達支援ガイドライン（厚生労働省）

健康・生活	健康状態の把握 健康の増進 リハビリテーションの実施 基本的生活スキルの獲得 構造化等により生活環境を整える
運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応
認知・行動	感覚や認知の活用 知覚から行動寝の認知過程の発達 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 数量、大小、色等の習得 認知の偏りへの対応 行動障害への予防及び対応
言語・コミュニケーション	言語の形成と活用 受容言語と表出言語の支援 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 指さし、身振り、サイン等の活用 読み書き能力の向上のための支援 コミュニケーション機器の活用 手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用
人間関係・社会性	アタッチメント（愛着行動）の形成 模倣行動の支援 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 一人遊びから共同遊びへの支援 自己の理解とコントロールのための支援 集団への参加への支援

活動を系統化する

事業所として

ねらい

時期



2020年 3月 活動予定表

日	活動内容	持ち物	算○/●	弁当	支援目的	S-M
1						
2	月 感覚統合 指先エクササイズ		●		指先の運動	74
3	火 買い物活動 駄菓子屋ひかり		○		買い物遊び	40
4	水 感覚統合 ひかり/すてっぷ: 目隠チャレンジ ねぐすと:リトミック		●		—	
5	木 SST じゃんけんゲーム		●		いろいろな遊び方	63
6	金 工作 作って遊ぼう				道具の貸し借りができる	47
7	土 SST 運動 ボールでクリエーション ハドル・スポーツクラブ		○		ルールを守って遊ぶ	31
8	日					
9	月 SST クイズに挑戦		●		意見を伝えることができる	63
10	火 SST ゲームdeおやつ		○		順番を守れる	31
11	水 感覚統合 ひかり:リトミック / ねぐすと:体操 すてっぷ:体力測定		●		—	
12	木 工作 お部屋を飾ろう		●		道具を正しく使える	41
13	金 感覚統合 サイレントゲーム				静かにできる・注視する	20
14	土 感覚統合 運動 リズムゲーム ハドル・スポーツクラブ		○		合図に合わせて遊ぶ	61
15	日					
16	月 工作 4月のカレンダーを作ろう		●		はさみの使い方	48
17	火 買い物活動 駄菓子屋ひかり		○		買い物遊び	40
18	水 感覚統合 ひかり:体操 / ねぐすと:リトミック すてっぷ:アイロンビーズ		●		—	
19	木 SST チームで遊ぶ		●		協力して楽しむ	78
20	金					
21	土 感覚統合 運動 音楽遊び ハドル・スポーツクラブ		○		集団遊び	83
22	日					
23	月 感覚統合 バランスゲーム		●		からだの使い方	41
24	火 工作 花飾りを作ろう		○		いろどりなどを考える	39
25	水 訓練 避難訓練		●	○	静かに話が聞ける	37
26	木 外出活動 体育館で遊ぼう	体育館シユーズ	●	○	順番を守れる	30
27	金 買い物活動 ドーナツを買いに行こう	お財布	×		買い物の計画を立てる	94
28	土 外出活動 ひかり:おつかいミッション ねぐすと:地域交流会		○		—	
29	日					
30	月 クッキング おやつクッキング	クッキングセット エプロン・三角巾・マスク・ハンドタオル	●	○	簡単な調理ができる	101
31	火 イベント お楽しみ会		○	○	約束を守って楽しむ	71

クッキングセット エプロン・三角巾・マスク・ハンドタオル	お財布 お財布にお金を入れてくる	ハドル・スポーツクラブ 運動しやすい服装・タオル ・多めのお茶(水)
---------------------------------	---------------------	--

※ 弁当: ○ 注文または持参
× クッキングのため不要

※ 都合により予定変更する場合があります。
・算数教室及び脳機能パランサーの申込はHUG上の備考欄にてお願いします。

活動を系統化する

事業所として

2020年 年間行事

	四半期目標	創作活動	心理面談裏プロ・イベント	誕生日
4月	自己課題 自己を見つめる。自身のことと向き合う。	●お守りづくり	○心理劇 役を演じるということになれる	
5月		●スクイーズづくり ～握って安心、フワフワスクイーズ～		
6月		●立体アートづくり ～自分の世界を箱に表現～		
7月	自己・集団 集団の中に存在する意識しながら、自身の役割的意識を芽生えさせる。	●夏祭り創作	◆ 夏祭り	
8月		●創作物語リレー ～物語をつなぐ～		
9月		●陶芸器づくり		
10月	集団に対する意志的な行動の芽生え 集団の中に対する自己ポジションの確立	◆ハロウィンイベント		
11月		●草木染め体験		
12月		●身だしなみミラーブルーブ ～お気に入りの鏡で身だしなみを整える～	◆クリスマスイベント ～1年の集大成をみせる～	
1月	自己の統合 「〇〇が出来た」「△△は出来なかった」などの両極的な感情の受容。自己の成長を振り返る。	●初筆書き体験 ～私・僕の1年はどうする？～		
2月		●革細工キーホルダー ～誰に贈る？～	◆節分イベント	
3月		●香り袋づくり ～かいで落ち着く～	◆ 卒業式	

2020年 年間行事

	四半期目標	創作活動	作業学習・イベント	誕生日
4月	<慣れる時期> ・生活リズムを整える ・不安を軽減	□ソルトペインティング (江口) (情緒の安定)	□サーキット □体幹トレーニング	
5月		□ボトルドーム(山田) (不安癒す)	□サーキット □体幹トレーニング	
6月		□クレイアートクッキーマグネット(江口) (創造性・巧緻性)	□サーキット □体幹トレーニング	
7月	<体つくり> ・粗大運動で自己の体の意識作りと、コントロールを図る		□サーキット □体幹トレーニング ■音楽療法 (リトミック)	
8月			□サーキット □体幹トレーニング ■ボールペン 袋詰め 封筒作り(作業学習)	
9月		□叶①創作活動への神絵書き(江口) ストレス軽減、発信	□サーキット □体幹トレーニング (■音楽療法 (リトミック))	
10月	<整える時期> ・実習等が始まりリズムが乱れる予想、安定できるグッズや行事等を通して変わらない安心を得る	□空き缶ペイント(松尾) (感覚課題・育成によるリズム作り)	□サーキット □体幹トレーニング	
11月		□アドベントカレンダー作り(安田) (見通しの安心)	□サーキット □体幹トレーニング	
12月		□門松作り (江口) (1年の締めくくりの意識を持つことでリズムを作る)	□サーキット □体幹トレーニング	
1月	<来年度へ向けての意識作り> ・心構え ・自己成長の振りかえり		□サーキット □体幹トレーニング ■ボールペン 袋詰め 封筒作り(作業学習)	
2月		□つるしひな (安田) (季節の意識)	□サーキット □体幹トレーニング ■節分イベント「豆まさ」 (山田)	
3月		□アルバム作り (坂口) (自分の成長を確認する)	□サーキット □体幹トレーニング □お別れ会 3月29日	

目的・内容・方法

活動の内容はなに？



(1) ガイドラインの趣旨

(2) 放課後等デイサービスの基本的役割

○ 子どもの最善の利益の保障

「生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与すること」（児童福祉法）学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じた発達支援→最善の利益の保障と健全な育成

○ 共生社会の実現に向けた後方支援

インクルージョン 集団の中での育ちの保障 一般的な子育て支援策を、専門的な知識・経験に基づく後方支援 地域の障がい児支援の専門機関としてふさわしい事業展開

○ 保護者支援

①子育ての悩み等に対する相談を行うこと ②家庭内の養育等についてペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援すること ③保護者の時間を保障するために、ケアを一時的に代行する支援を行うこと

(3) 放課後等デイサービスの提供に当たっての基本的姿勢と基本活動

① 基本的姿勢

発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した個別支援計画に沿って発達支援を行う。
「他者との信頼関係の形成の体験」「人と関わることへの関心」「コミュニケーションをとることの楽しさ」「葛藤を調整する力」「主張する力」「折り合いをつける力」基本活動には、自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを組み込むこと。「保護者・関係機関との連携」

② 基本活動

ア 自立支援と日常生活の充実のための活動

基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動「遊びを通して成功体験」「自己肯定感を育む」

イ 創作活動

表現する喜びを体験できる。日頃から自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもつ。「豊かな感性」

ウ 地域交流の機会の提供

子どもの社会経験の幅を広げていく。放課後等に行われている多様学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により積極的に地域との交流を図っていく。

エ 余暇の提供

子どもが望む遊びや自分自身をリラックスさせる練習等の諸活動を自己選択して取り組む経験を積んでいくために、多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう工夫する。

(4) 事業所が適切な放課後等デイサービスを提供するために必要な組織運営管理

① 適切な支援の提供と支援の質の向上

○ 運営方針、計画、タイムスケジュール、活動プログラムについて、PDCAサイクルにより不断に支援の質の向上を図る。

○ 支援に関わる人材の知識・技術を高める研修の機会確保+習得意欲喚起

○ 保護者、学校をはじめ、さまざまな関係機関との連携、情報共有→放課後等デイサービスに期待される役割の認識

② 説明責任の履行と透明性の高い事業運営

○ 保護者の満足感、安心感を高めるため支援の内容を保護者とともに考える。丁寧な説明。寄り添うための積極的なコミュニケーション。

○ 事業所が、地域社会からの信頼を得るために、事業に関する情報発信を積極的に行い地域に開かれた事業運営を心がける。

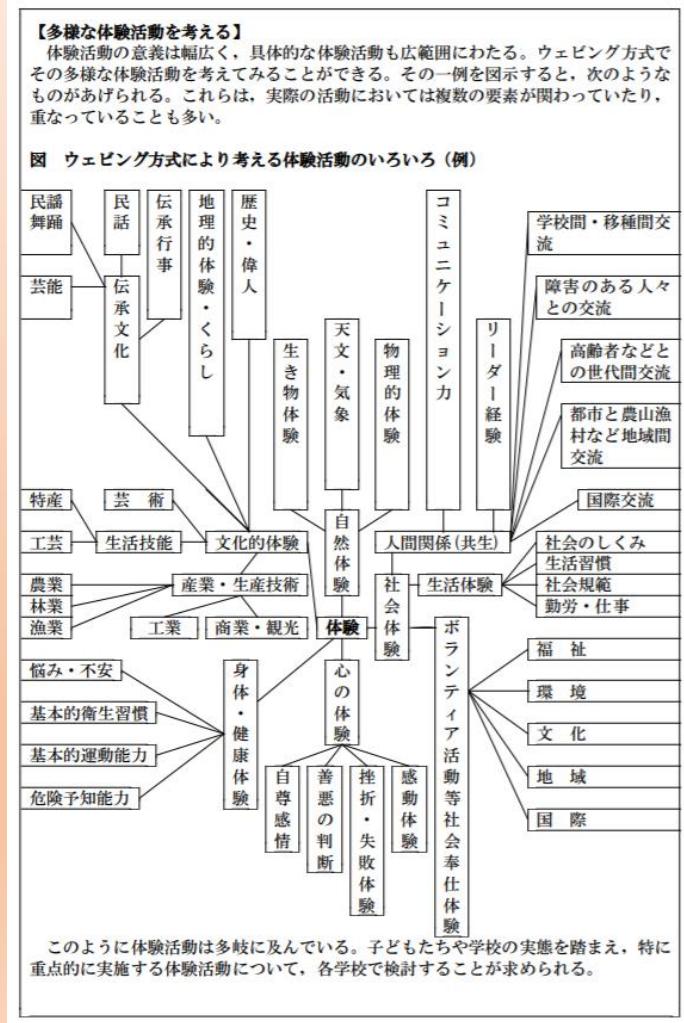
③ 様々なリスクへの備えと法令遵守

○ 健康状態の急変、非常災害、犯罪、感染症に対する訓練やマニュアルの策定

○ 虐待の未然防止や個人情報の保護、関係法規の遵守。「子どもの権利擁護」

【活動企画書をつくろう！】

【 2 体験活動の内容を決める】



- ① ボランティア活動など
社会奉仕に関わる体験活動
- ② 自然に関わる体験活動
- ③ 勤労生産に関わる体験活動
- ④ 職場や就業に関わる体験活動
- ⑤ 文化や芸術に関わる体験活動
- ⑥ 交流に関わる体験活動
- ⑦ その他の体験活動

文部科学省HP：青少年の健全育成より

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/houshi/detail/1368011.htm



サンクスシェア

障害のある子を支える 放課後等デイサービス 実践事例集

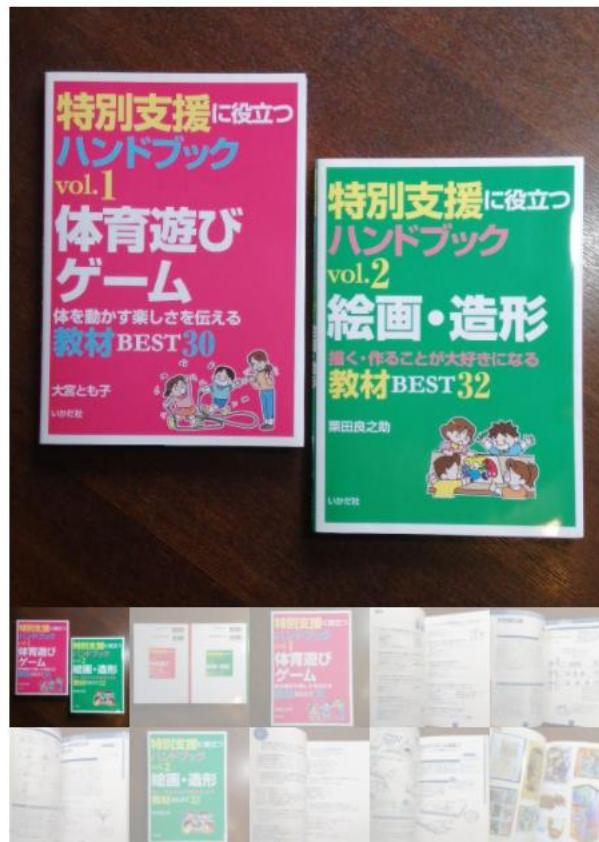
一般社団法人全国児童発達支援協議会 ●編集



中央法規

【2冊セット】特別支援に役立つハンドブック vol.1 & vol.2

『【2冊セット】特別支援に役立つハンドブック vol.1 & vol.2』は、224回の取引実績を持つ赤ちゃんさんから出品されました。人文/社会/本・音楽・ゲームの商品で、未定から1~2日で発送されます。



出品者	赤ちゃん 223 1
カテゴリー	本・音楽・ゲーム >本 >人文/社会
ブランド	
商品の状態	目立った傷や汚れなし
配送料の負担	送料込み(出品者負担)
配送の方法	らくらくメルカリ便
配送元地域	未定
発送日の目安	1~2日で発送

3

学級担任のアイデア・ヒント集

子どもの豊かな活動・体験を活かす
生活科のアイデア・ヒント

中嶋公喜/編著



明治図書

特別支援学校教育要領・学習指導要領解説

自立活動編 (幼稚部・小学部・中学部)

平成 30 年 3 月



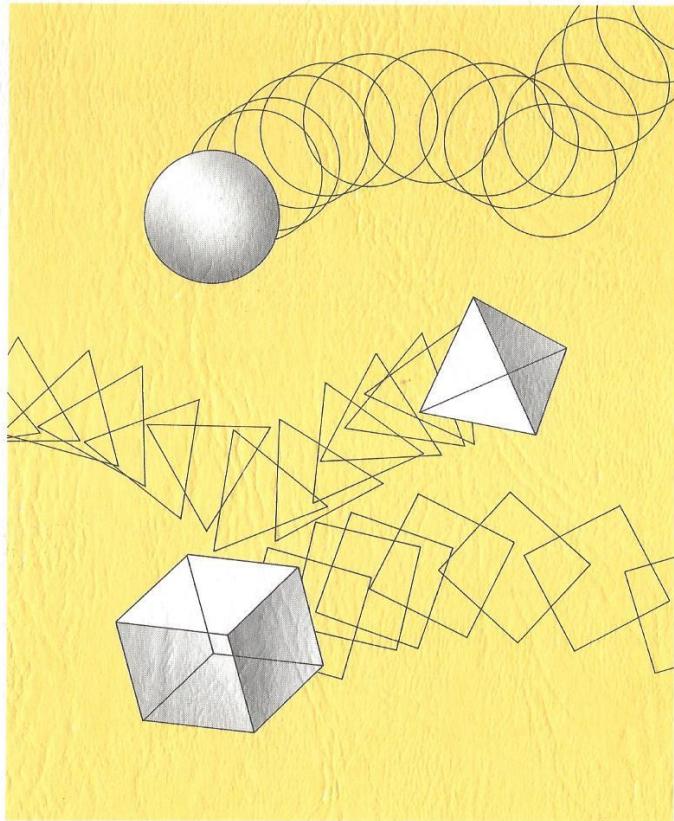
文部科学省



サンクスシェア

MEXT I-9316

遊びの指導の手引



平成 5 年

文 部 省

MEXT I-9333

日常生活の指導の手引

(改 訂 版)



平成 6 年

文 部 省

目的・内容・方法

どのように展開すれば？



【活動企画書をつくろう！】

【 4 活動計画を立てる】

活動と指導をコラボする絶好の機会！

事前

- ・ 活動当日を迎えるまでの準備（制作や下調べなど）
- ・ できるようになっておいてほしいことのトレーニング
- ・ 場所の確保や準備物の借用、購入予算などの事前準備

事中

- ・ 当日の活動の主な流れ
- ・ 役割分担
- ・ 準備するもの

事後

- ・ 活動後の振り返りをする場の設定
- ・ 活動の成果を発表する場の設定
- ・ 次の活動につながる、発展する方向性をさぐる



サンクスシェア

【活動企画書をつくろう！】

【 5 支援の具体的留意点を考える】

Pont 1 起こり得ることを想定しておき、

ことが起きたとき、即座に対応する

Pont 2 子どもたちの自主的な行いを妨げない

Pont 3 準備してきたこと、練習してきたことが

成功するようお膳立てをしておく

Pont 4 スタッフの役割分担を明確にしておく



【活動企画書をつくろう！】

【 6 下見及びスタッフ予備体験（シミュレーション）をする】

- 留意点 1 利用場所の関係者に面会し、
目的・内容・方法について説明し理解を得る
- 留意点 2 利用場所のきまり・ルールを確認する
- 留意点 3 危険個所、安全配慮必要箇所のチェックをする
- 留意点 3 トイレ、食事、緊急時のポイントの確認
- 留意点 4 何を体験させて何を体験させないかを決める
- 留意点 5 移動手段や見学・体験にかかる時間・費用の把握

【活動企画書をつくろう！】

【 7 活動計画を練り直す】

- ・事前下見や事前体験で得られた情報を加味して
計画を見直す

【 ※ 上司に企画提案する】

- ◎ 目的を明確にして説明する
- ◎ 安全面、緊急時の対策に注力することを説明する
- 小出しに情報を発信し、了承を得る根回しをしておく
- どの段階でアプローチするのか戦略的に

【活動企画書をつくろう！】

活動企画書づくりのポイント

1 なぜ、その企画（＝療育活動）をするのですか？

- 目的の明確化
 - ・子どもたちの実態
 - ・目指す姿

2 どんな活動を計画するのですか？

- 活動のもつ意味
 - ・体験的活動
 - ・ソーシャルスキルトレーニング

3 活動をどのように展開するのですか？

- 子どもたちの動機付け
 - ・内発的動機付け
 - ・外発的動機付け
 - ・社会的動機付け

4 どのように計画・準備するのですか？

- 実施までの段取り等
 - ・企画の承認（いつまで？）
 - ・借用や購入予算、制作等の計画
- 過去の資料の参考
 - ・活動後の資料整理の工夫と徹底

5 どのように支援するのですか？

- 一人ひとりの子どものアセスメントと個別支援計画から

6 シミュレーションをやってみましょう！

活動計画書

【活動名】

【ねらい】

【準備物】 借用・購入、予算等

【活動の展開】

	活動及び指導の内容・時間配分等	支援の留意点
事前		
事中		
事後		



【活動企画書をつくろう！】

構成的グループ・エンカウンター 活動例（計画案）

(1) 療育活動名 フルーツバスケット

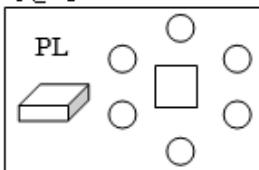
(2) ねらい

- ① 遊びのルールを理解し、集団遊びであるフルーツバスケットを楽しむことができる
- ② 「おに」へのインタビューを通して、他児の話に注目することができる

(3) 準備（もの・場）

梨・林檎・柿各1個 + 一口サイズ爪楊枝付き（人数分）
 果物首かけ絵カード（3種類×5枚くらい）
 果物場絵カード（3種類+フルーツ盛合×5枚くらい）
 椅子（人数分） 爪楊枝ごみ入れ

資料編②



（4）活動の流れ

時間	活動	活動上の留意点	支援上の留意点
1	場所を自由に選び、椅子に座って待つ		
2	秋の果物を見て遊びへの興味をもつ	・果物を見せながら、声かけする 「今日はこれを使って遊びます。遊びたい人！」	・指示への注目ができるよう声掛けする ・説明に注目するよう声掛けする ※場合によってはモデリングに参加させる
3	チーム決めをする	・一人ひとり順番に「好きな」果物を選ばせ、絵カードを首にかける	
4	ルール説明を聞く	・モデリングをしながら説明する 【ルール】 ①PLから引いたカードを見せながら果物の名前を言う ②移動する際、雑巾を一旦踏む ③座ることができたらカードにシールを貼ってもらう ④「おに」はPL、もしくは他児から質問やインタビューを受ける ・一度練習をやってみる	・ルールの理解が難しい子に、スタッフが直接支援する ※この際、教えるのではなく考えさせることを原則とし、不十分な部分

5 ゲームをする

- ・「おに」がカードを引く＆言う→すわる→シール→「おに」インタビュー→「おに」がカードを…のサイクルについて、子どもたちの楽しみ具合、ルールの理解具合をみながら繰り返す
※飽きているようだったら「なんでもバスケット」（〇〇の人！）へバージョンアップする

6 ゲームを振り返る

- ・獲得したシールを数え、勝敗を確認する
- ・多い子から順番に、インタビューして感想を得ながら果物を食べる
【感想インタビュー】
Q：楽しかったか？
Q：どうして楽しかったのか？
- ・まとめとして、「おに」になった他児が話していたインタビュー内容をクイズ形式で出題し、よくできていた子を賞賛する

のみフォローする

・話に注目しているかを觀察し、直接指導する
※場合によってはインタビュアーにさせる

・数確認が難しそうな子には直接支援する（間違いないように）

・まとめとして「ルールを守ると楽しい」を感じ取らせたい

【活動企画書をつくろう！】

体験活動の「それダメ×」「それマル〇」

「それダメ×」 活動のみのやりっぱなし！

「それマル〇」

【箱入り娘お嬢型】

失敗体験をしないよう、
体験が成功するよう
事前のお膳立てを徹底する

【野生児リベンジ型】

まずはどっぷり体験したあと、
リベンジの機会を設定し、
最後には体験が成功するよう
しっかり導いていく

【活動企画書をつくろう！】

「本格工作にチャレンジしよう」

【室内体験型】

事前

- ・ 100円均一の工作セットで貯金箱を作る
- ・ 途中であきらめずに最後まで作り上げる
- ・ 自分が作った作品を大切に扱う

事中

- ・ 前年度の優秀作品と賞について説明を聞く
- ・ どんなものをどんな材料で作るか計画を立てる
- ・ 必要な材料を買い物に行く
- ・ マイ貯金箱を制作する

事後

- ・ みんなが作った作品の鑑賞会をする
(相互投票して事業所内表彰をする)
(互いのいいところをほめ合おう)



【活動企画書をつくろう！】

「火起こししてカレーを作ろう」

【野外体験型】

事前

- ・火の起こし方を練習する
- ・危険認識を学習する
- ・一定時間、しつかり説明を聞く練習をする

事中

- ・カレーの作り方を調べる
- ・必要な材料を買い物に行く
- ・火起こし体験を経験する
- ・みんなと協力してカレーを作る

事後

- ・指導してくれたおじさんにお礼の手紙を書く
- ・おうちの人と一緒にカレー作りをする



サンクスシェア

【活動企画書をつくろう！】

「鳥獣センターへ行こう」

【目的地見学型】

事前

- ・集合の仕方を練習する
- ・公共の施設におけるマナーを学習する
- ・小グループで行動するためのルールをつくる

事中

- ・鳥獣センターにいる動物探しオリエンテーリング
- ・好きな乗り物を選んで乗る

事後

- ・撮影してきた写真をスライドで振り返る
- ・好きな動物の絵を描く
- ・事業所壁面飾りとして掲示



【活動企画書をつくろう！】

「地域の祭りに参加しよう」

【地域交流型】

事前

- ・町の資料館を見学し、地域の歴史を学習する
- ・一定時間、しっかり説明を聞く練習をする
- ・地域の祭りの神輿担ぎの様子をVTRで視聴する

事中

- ・町の歴史や地域の祭りについて、話を聞く
- ・プレ神輿担ぎに参加する
- ・祭りの衣装を着て神輿担ぎ本番に参加する

事後

- ・家族と一緒に町の夜祭に参加する
- ・（以後継続的に）地域の清掃活動にボランティア参加する



サンクスシェア

【活動企画書をつくろう！】

年間の構想・月ごとの構想・週ごとの構想

年間

【春】『自己紹介をしよう』

「自分を知ろう」

【夏】『夏祭りをしよう』

「友だちを知ろう」

【秋】『秋を食べよう』

「友だちと協力しよう」

【冬】『ボランティア訪問しよう』

「成長を振り返ろう」

月

今月のテーマ：「ともだちのいいところ探し」

・みつけたらカードに書いて壁に掲示しよう

週

今週の目標：「おもちゃの片付けがんばり週間」

・おもちゃ片付け名人の帰りの会発表

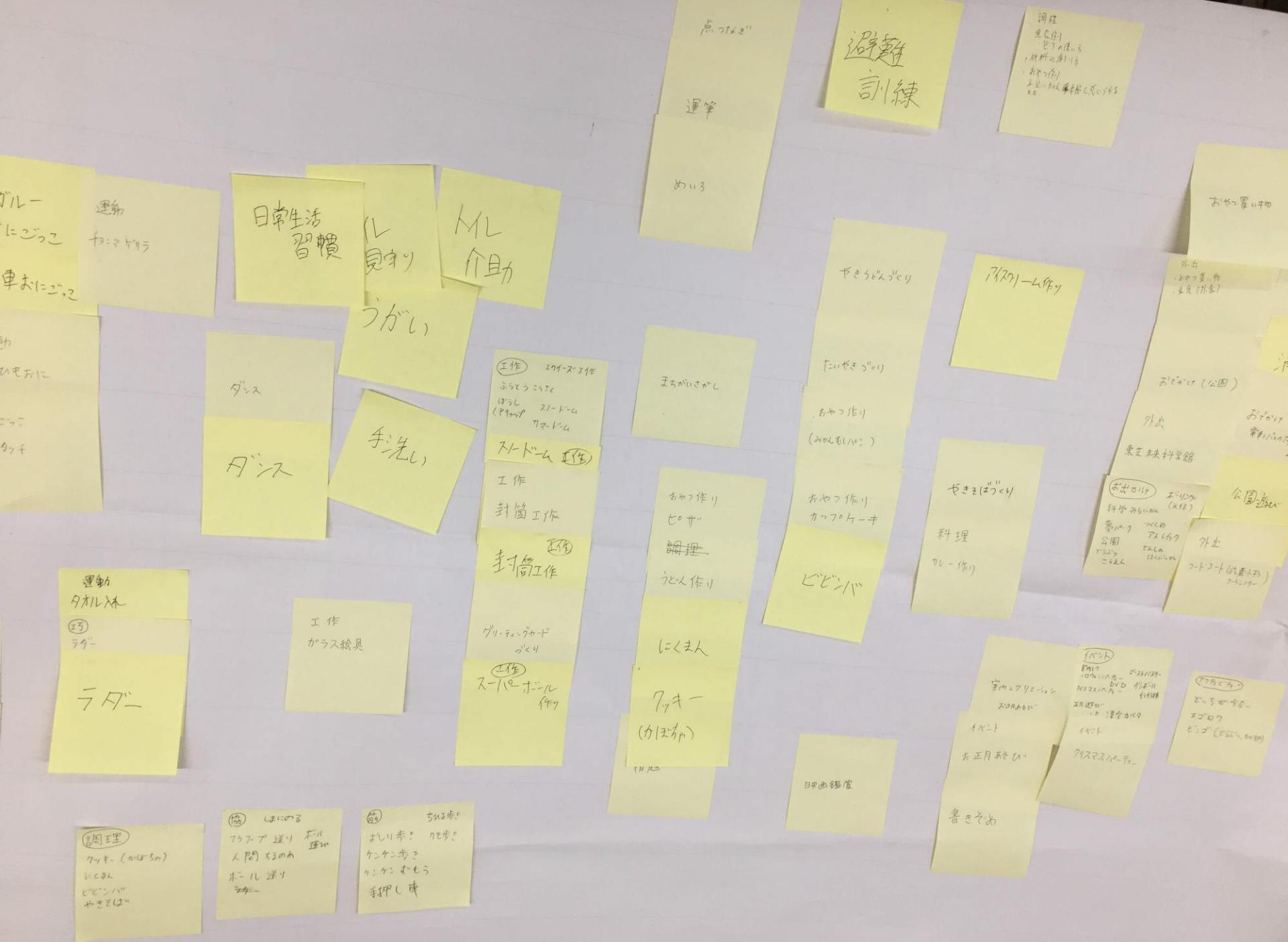


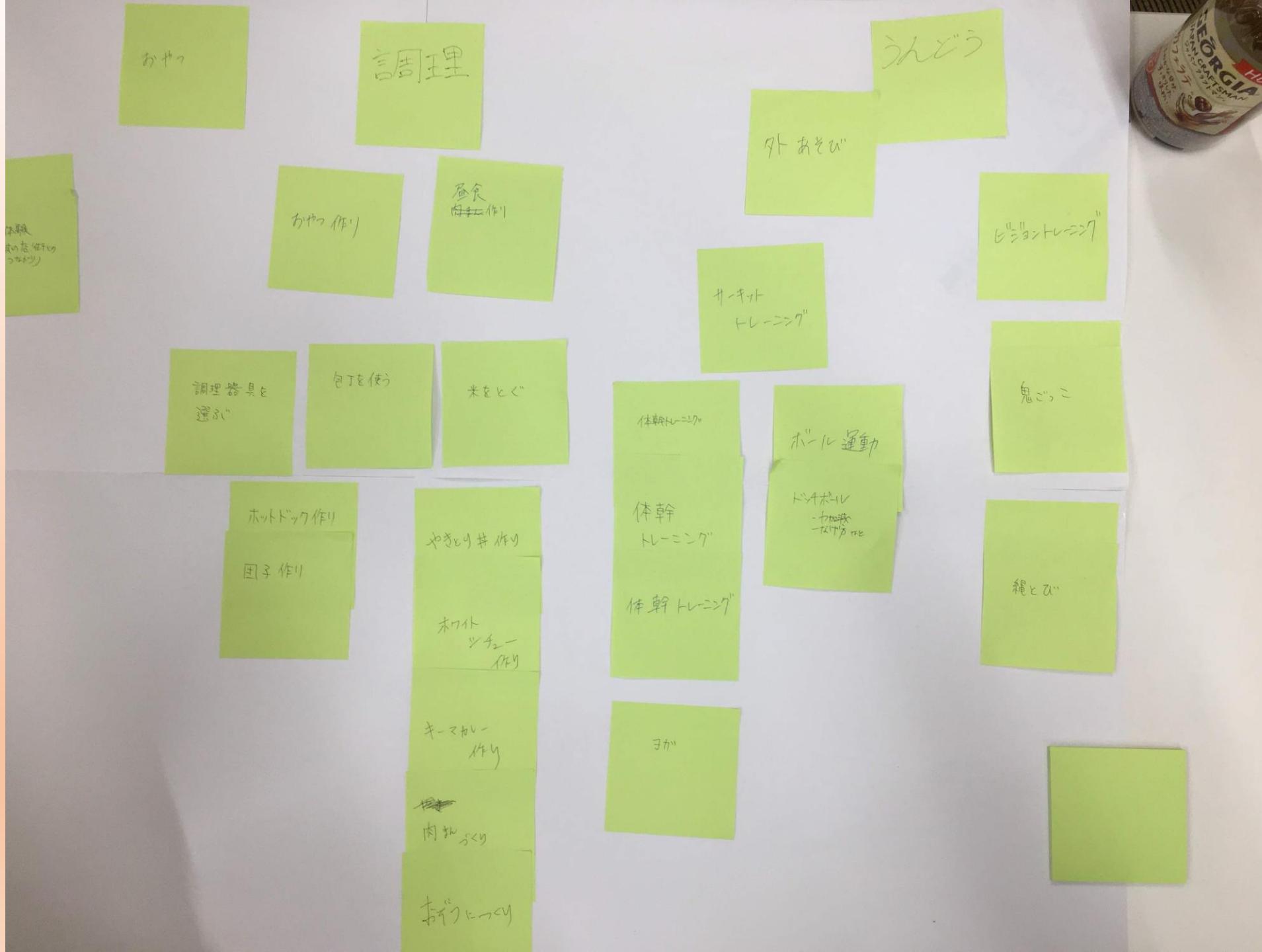
サンクスシェア

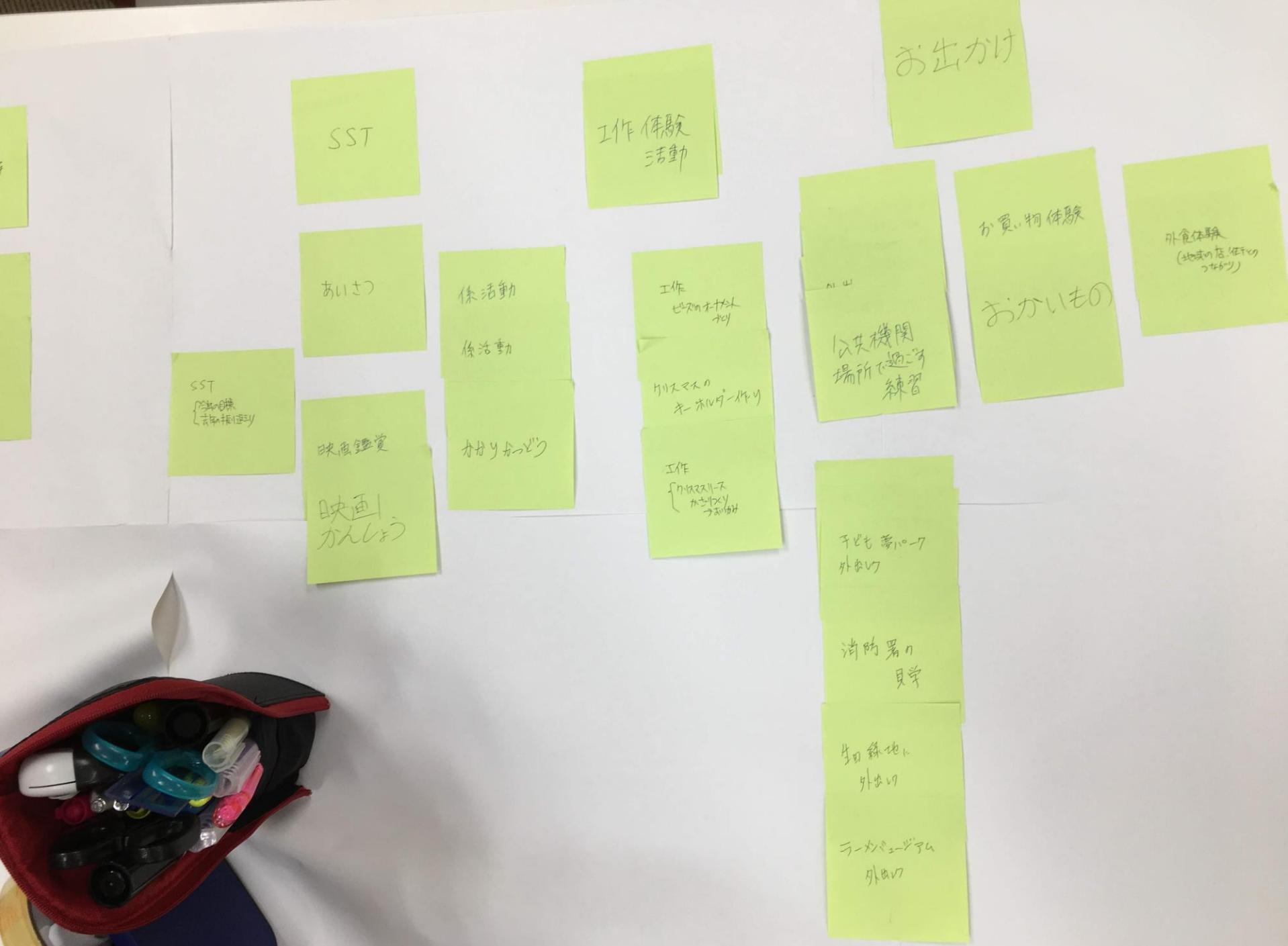
療育を系統化してみましょう



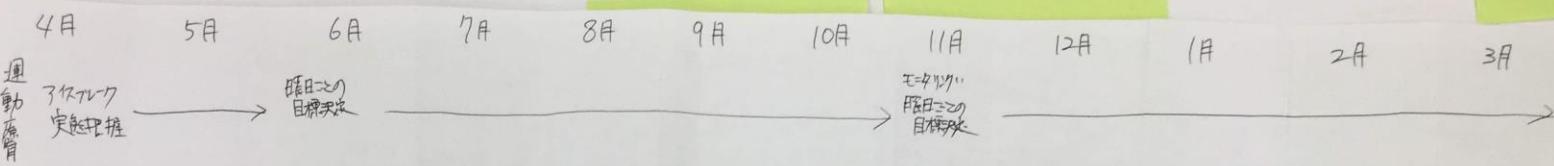
- 集団**
- (4月) ヴィルカム(10ヶ月)
 (特徴性: 自己理解、他人理解)
 運動 学習 読み聞かせ
 ホンのい
 短い時間
 でも
 学習室に
 行けるよ
 ように
 はるこ
 ホンのい
 「慣れる」とか
 まだ重要な為
 運動時間
 特徴を作ります
- ①生活
 ②心理
 ③社会性
 自由時間でアシスト
- (5月) プラネットarium春
 (SST、季節感)
- 特性
 生活
 社会性
- (6月) 遊戯訓練
- 運動
 特徴
- (7月) 映画上映
 (鑑賞能力、語彙力、想像性)
 記憶
 心理
 (理解)
- (8月) つかひ(感覚統合)(体力)
 (日常生活習慣)(読解発達)
 運動
 生活
- (9月)
 心理
 社会性
 大学入試記録
- 個別**
- (10月) ~集団~
 運動 学習 読み聞かせ
 心理
 認知
- 張り紙
 1枚1つの読み聞かせ(不安緊張)
 短い時間
 学校生活に
 行けるよ
 ように
 はるこ
 ホンのい
 「慣れる」とか
 まだ重要な為
 運動時間
 特徴を作ります
- ・排泄補助(生活)
 ・1枚1つの読み聞かせ(不安緊張)
- (11月)
 運動
 11月
 勤労奉仕(くろしき)
 落ち葉遊び(感覚統合)
 (季節感)
- (12月) 11月24日正月に開催したバーチャルワーク
 特徴
 社会性
 開催地
 時間
- (1月)
 認知
 心理
 生活
- (2月) 遊戯訓練
 プラネットarium(冬)
 特徴
 生活
- (3月)
 心理
 季節
 地域交流
 「世界一」
 1年生
- 「世界一」
 1年生
- 田舎の個別面接(11~3月)







サーキット
トレーニング



個別会議

↑ SST(個別会議)
工作
調理
個別会議
外出

4ヶ月
- 1ヶ月
- 1ヶ月
- 1ヶ月

個別会議

個別会議

個別会議

お手本



サンクスシェア



サンクスシェア





サンクスシェア

集団活動

運動

マラソン
(マラソン会)

マート運動

バドミントン
オーバーナウ

リスボンシニア

リトニア
(住民大会)

成員統合

中学生タグ

リスボンシニア

海活動

全国イベント
(海水浴会)

ビーチクリーン

海活動
(海水浴会)

海水浴
(海水浴会)

個別活動

身辺自立

荷物整理

除湿

手洗い用意

トイレ介助

座り心地

自己統制

マラソン
(マラソン会)

事務局会

オール
マイラー

ジオストライーム

障害物走

トレーニング

サイクル
(自転車)

高齢者会

歩道

食育

クッキング
(クッキング)

おやつ(クッキング)
(日替わり)

社会性

避難訓練
防災

... ...

買物体験

季節のイベント

年末大掃除

お誕生日会

ハロウィン

(衣装工作

撮影会

クリスマス

12月会

(ビッグ



5

午			合同イベント (海水浴会)		ハロウイン (衣装工作) 撮影会	年次大掃除	ホリスマス パーティ (ビニール ・クリスマス)	祝語
午前	公園		海水浴 プール会 アクリル放空 (年1)	外出行事 ・アート・キッズ会 ・おもちゃで遊ぶ会 ・小物工作会 ・防災センター 等				
午後		誕生日会						
日曜		工作	おやつ(ハイキング) (日2~3回)		ク・キング (スイーツ ・ジブリ)	書道	リトグラフ (絵画教室)	ピ-キワリ-ン 海活動 (陸上体操)
			カレンターコック会 (毎月)		買い物(手芸)	避難説明会 防災会	トレーニング サ-ホール (自立課題)	中身当り会
			人懐っこい会 エイ作 (毎月)		ハートボトル オーナー	ジエスチャーハ-ム 言語ハ-ム		障害物走
集団 (日々)			帰りの会 (手の筋肉会) 本の読み(音読)	帰りの会 (手の筋肉会) 本の読み(音読)	マ-ト運動	食育	みらいシナジー (ミラシナ)	ひまわり練習 (ミラシナ)
個別活動	日々	体温	荷物整理	食事介助	歯みがき	トイレ介助 下便	みやつ 学習	手洗いうがい 自立課題 宿題

集団療育の方法（S S T編）



SSTとは・・・

ソーシャルスキルとは・・・

社会技能や社会的技能、社会的スキルの意味

WHOの定義

「日常生活の中で出会う様々な問題や課題に
自分で、創造的で、しかも効果ある対処のできる能力

SSTとは・・・

ソーシャルスキルとして必要な力とは・・・

- ① 意思決定
- ② 問題解決能力
- ③ 創造力・豊かな思考
- ④ クリティカルに考えていく力
- ⑤ 効果的なコミュニケーションスキル
- ⑥ 対人関係スキル（自己開示、質問力、傾聴力）
- ⑦ 自己意識・自己理解
- ⑧ 共感性
- ⑨ 情動への対処
- ⑩ ストレスへの対処

WHOの定義より

分類の一例 その1

気持ちのスキル

自己認知のスキル

ことばのスキル

行動のスキル

気持ちのスキル

- ☆ 自分の気持ちをコントロールする
- ☆ いやなことを断つたり、他者を許したり、受け容れたりする
- ☆ 気持ちやこだわりを切替、次の活動に移行する
- ☆ 相手の表情から気持ちを読み取る など

自己認知のスキル

- ☆ 自分のことを受け容れる
- ☆ 自分の行動の結果を見て振り返る
- ☆ 自分の苦手なことを理解し、対処する
- ☆ さまざまなかんがい観で考える、相手を認める

など

ことばのスキル

- ☆ あいさつをする
 - ☆ 自分のことについて話す
 - ☆ 相手の話を上手に聞く
 - ☆ 質問に適切に答える
 - ☆ 適切な言葉で話す
- など

行動のスキル

- ☆ 相手の意図や場面に合せて行動する
- ☆ ルールを理解し、守る
- ☆ 行動の意図を理解し、結果を予想する
- ☆ 指示に従い、集団での一斉活動に参加する

など

学習態勢

コミュニケーション

仲間関係

情緒・自己

生活

学習態勢

着席する 見る 聞く 発言する 待つ 並ぶ

移動する 指示やルールを理解する 指示やルール
に沿う

など

コミュニケーション

あいさつ　返事　お礼　謝罪　依頼などのやり取り

気持ちや考え方を表現する　相互性のあるやりとり

報告・連絡・相談する　上手に話し合う　会話

視線やジェスチャーなどの理解と活用　など

仲間関係

仲間意識 所属感 仲間に関わる 協調的に遊ぶ

相手に注目する 他者に配慮する

友人関係の形成と維持

など

情緒・自己

感情の認識 感情のコントロール 情緒の安定

信頼関係の構築 自尊感情を高める

得意・不得意の自己理解 課題の自己理解

など

生活

身だしなみ 衛生管理 持ち物管理 整理整頓

時間・スケジュール管理

家庭での手伝い

など

人に希望を伝える

人と一緒に
喜ぶ

生活リズムを
整える

人と一緒に
楽しむ

人に手伝って
もらう

教示

やり方を教える

モデリング

や実際にやって手本を見せる

リハーサル

ロールプレイやゲームなどで実践的に練習する

フィードバック

できていること・できていないことを評価する

般化

日常生活の中で取り組む